

<http://www.jnlp.jp>

*A Guidance of  
Japan Blooming College*



花咲く、夢咲く、人に咲く

ジャパンブルーミング カレッジ

# 「日本人に通用するNLPに育て上げたい」



ジャパンブルーミングカレッジ 学校長  
赤松 辰彦 *Tatsuhiko Akamatsu*

元・関西女学院短期大学経営学科講師  
元・関西国際大学短期大学部経営学科准教授  
近畿大学 非常勤講師  
京都橘大学 非常勤講師  
日本教育情報学会 会員  
日本情報倫理協会 事務局長  
NPO法人コンサウエル 理事  
エコノール国際映画産業振興協会 理事長  
株式会社シグナス 代表取締役  
主な業績：研究論文→[http://sign-us.jp/research\\_data/](http://sign-us.jp/research_data/)  
専門分野：情報学、教育工学

## ごあいさつ

NLPは心理学と称している方もおられます。心理学の専門家からは疑いの目で見られています。例えば、視線方向で嘘を見抜けるというように、間違った解釈を伝えられる場合があるからです。その理由として考えられるのは、きちんと実験していないことが多い、単に主張しているだけのように見受けられます。しかし、NLPで救われたとか、人生が変わったとか、成功したという意見が多いのも事実です。残念なのはその事実がNLPの効果なのかを保証する科学的エビデンスがないことです。また、曖昧な解釈でNLPを伝えることにより、創始者の理論とは異なる説明を授業でされる場合もあります。

そこで、ジャパンブルーミングカレッジでは、独自の学習者モデルをつくり、NLPに関しても本学ならではの定義をしています。受講者のアンケートの結果をもとに得られた知見を、学术学会等で発表することで、エビデンスの検証をしていきます。本学の考え方をご興味ある方は是非ともWebページを閲覧の上、メール等でお連絡いただけましたら幸いです。皆様とお会いできることをスタッフ一同、楽しみにしております。

### 【主な教育活動】

- 2011年、(公社)日本アロマ環境協会にてアロマテラピーインストラクターとして「香育セミナー」担当。米国催眠療法協会認定ヒプノセラピストとして催眠療法の個人セッション開始。
- 2012年、(株)生活の木CSにてアロマテラピー及び心理学講座担当。
- 2013年、米国NLP協会™認定NLPトレーナーとしてヒューマンアカデミー(西日本各校舎)にて資格認定コース(プラクティショナーコース、マスタークラス)、各種ショートセミナー担当。jobEQ認定iWAMマスターとして言語パターンに関するセミナー各種施行。iWAMプログラムを使用したコーチング個人セッションを開始。

- 2015年、米国NLP協会™認定NLPコーチングトレーナーとしてNLPコーチ資格認定コーチングトレーニングコースを担当する(※京都初)。

### 【主な資格】

- 米国NLP™協会認定NLPトレーナー
- 米国NLP™協会認定NLPコーチングトレーナー
- iWAM®認定マスター 110-0001
- LABプロファイルプラクティショナー
- 米国催眠療法協会認定ヒプノセラピスト
- TA(交流分析)講師
- AEA認定アロマテラピーインストラクター



エグゼクティブトレーナー：中川 麻織 *Maori Nakagawa*

### 校章とスローガンに込められた、新しい教育への理想形「花咲く、夢咲く、人に咲く」

本カレッジのスローガンである「花咲く、夢咲く、人に咲く」は、本校長が30年以上にわたる教育現場での実感を通して選び出た教育者としての「魂の言葉」でもあります。この言葉は、人が夢を持ち、真剣に学び励むとき、着実に人に花開く教育でなければならない、という強い思いに裏付けられています。*Japan Blooming College*(ジャパンブルーミングカレッジ)のイニシアール「JBC」を中心頂く校章には、その思想が次のような形で込められています。知恵と富と栄光の象徴である「オリーブの花と果実」、その花の清廉を頂く「J」の文字は、聖者の誕生に東方より駆け付けた「三賢者」を象徴した「賢者の杖」によって支えられています。



NLPは、Neuro-Linguistic Programming(神経言語プログラミング)の略で、創始者のリチャード・バンドラー、ジョン・グリンダーによって開発され、別名「脳の取扱説明書」とも言われますが、アメリカ生まれのせいか日本人には、もう一つ良く分かりません。そこで本校では、次のように独自の定義付けを行っています。

『人間は、感覚(五感=視覚・聴覚・味覚・嗅覚・触覚)と、言語／非言語で事象を判断し、脳内で意味づけすることにより、物事を認識し、記憶します。そして、その認識や記憶は、主観的判断からくる体験のある枠組みの中に当てはめることで、目前の事象に対して判断し、行動します。この「脳内での情報処理を最適化する」ことは、目前の事象を最適に判断し、行動を支援する、すなわち、問題解決の最適化につながります。そして〈NLP〉は、このような「問題の解決を最適化」するための〈支援プログラム〉なのです。』

かつてのベトナム戦争帰還兵の「脳を最適化する」ことで、その後の人生を癒し、近年の米国大統領選挙においては、歴代の候補者の「脳の最適化を図る」ことで、いずれの候補者をも勝利へと導いたことは、現在ではあまりにも有名なお話です。

NLPを求めていた。



どうやら彼らは、日本人の「脳の最適化」が苦手らしい。「上級スキルになると、海外でしか資格の取得ができないんで、それがネックですね……」最初は力強く受講し始めたものの、渡米への壁が多く日本人のNLPへの情熱を中途で頓挫させている、という現実に私たちは、これまで何度も出会ってきました。これって、今のNLPの運営システムこそが、日本人にとって「最適化できない状況」になっているのだとも言えなくはありません。

日本人は、NLPの資格を「お茶」や「お花」のように、単なる花嫁修業の「お稽古事」の一つにしてはダメ!



※米国NLP™協会認定証

人が自分の身の上や境遇に真摯に向き合い、新たな可能性を自らの中に見つけて前へ進もうとするとき、NLPの最適化支援プログラムは、何よりもその人を勇気づけるに違いありません。本カレッジは、NLPを途中で投げ出すことなく専門家となる強力な講座も用意しました。日本国内限定の資格ではありますが、日本人の「脳を最適化する」のには、むしろこの手法こそが最強であると自信しています。

